

令和5年7月28日

二本松市議会議長 様

会 派 名 令和創生の会
代表者名 本多 俊昭



研 修 報 告 書

本会派において、下記のとおり研修会に参加したので、報告いたします。

記

1. 研 修 名 自治体・公共 Week2023「地域の未来につながる出会いを」
2. 研修日時 令和5年6月29日（木）～30日（金）
3. 講 師 等 デジタル大臣 河野太郎氏 他
4. 参 加 者 ① 本多 俊昭 ② 小林 均
③ ④



視 察 ・ 研 修 報 告 書

会 派 令和創生の会

氏 名 本多俊昭

○ 月 日 令和 5 年 6 月 2 8 ～ 2 9 日

○ 場 所 東京ビックサイト

○ 内 容 自治体 DX 展

○ 視察・研修の感想

特別講演 1, 「ウェルビーイング先進地域富山県の成長戦略」

新田八朗氏 富山県知事

「ウェルビーイング」とは、心身と社会的な健康を意味する概念。決まった訳し方ではなく、満足した生活を送ることができている状態、幸福な状態、充実した状態などの多面的な幸せ、持続的な幸せを表す言葉です。

富山県では、令和 4 年 2 月に、「ウェルビーイング」を中心に捉えた富山県成長戦略を策定した。かつてのバブル時代のような、経済成長による物質的な幸せを実感することが難しい現代。収入や健康といった外形的な価値にとらわれず、幸せとは何かについて思いを巡らせ、そのためには自分はどうあるべきかを考えることが大切であり、自分らしく生きられる。そんな「ウェルビーイング」の向上を目指し、次世代の価値を生む人が育ち集まる富山となるため、成長戦略の目的でもあり、手段であるという考え方のもと、新しい価値を生む人材交流・人材集積を図り、「幸せ人口 1000 万～ウェルビーイング先進地域、富山～」をつくっていくとの講演でした。

特別講演 2, 「これからの観光づくり」

平山耕吏氏 観光庁観光地域振興課課長補佐

観光があることにより、住む人が経済的にも精神的にも豊かさを感じられる持続的な地域づくりを大前提として、受け入れ体制の整備や誘客活動を進めることで、観光客の皆様にも豊かな時を過ごしていただける環境を提供することができ、6 次産業化などを通じて観光収入の市内滞留を進め、観光があることで

豊かになっていると市民が実感できる状況を創出すること。子供たちには自然や歴史・文化を伝え、体験してもらうことにより故郷に自信と誇りを感じ取ってもらえる教育の場の提供の大切さなど、近年の人口減少・少子高齢化が進む中で、観光は成長戦略の柱、コロナ禍を経た世界的潮流の変化を踏まえ、観光は地域活性化の切り札であるとの講演でした。

特別講演3、「デジタル化の進展の現状」

河野太郎氏 デジタル庁 デジタル大臣

マイナンバーカードと健康保険証を一体化させた「マイナ保険証」でトラブルが続発していることの謝罪から話され。そして、個人の情報のひも付けを行う行政機関などの作業について、マニュアルの内容と作業の方法点検を7月末までに行うと話したうえで、ちゃんとしたマニュアルで作業がそれに基づいて徹底されていれば、ひも付けの誤りというのは起きなかったこれから点検を徹底して行うことを優先すると話されました。また、今の健康保険証を廃止し、マイナンバーカードと一体化させる方針について、来年の秋に一本化させていただきたいとも話されました。だれ一人取り残されないデジタル社会とは、例えば、行政における不要な手続きをデジタル活用によって減らすことで、業務に余裕ができる。結果として「高齢者や障害者に寄り添うなど、人間が本来すべきことに集中できるようになる。デジタル活用で、ぬくもりのある社会の実現につながる」人々にやさしいデジタル化という大方針こそが、公共DXには不可欠との講演でした。

○ 視察・研修の成果、市政への反映等

※視察・研修の成果、市政に反映するために参考となった事項を記載する。

展示会には様々なサービスや実績を持つ出展者が集う展示会。企業の担当者から最新の事例やテクノロジーについて、直接説明を頂いて大変参考になりました。また、特別講演を聞き人口減少により需要は減りつつ、その内容は多様化していく。一方で供給も増えることはない。このような「需給ギャップを解消するには、供給側が、効率化するしかない。必然的にデジタルを活用することになるため、デジタル化の担い手になる多様な人材、特に若手を地域に呼び込むことが必要と考える。

研 修 報 告 書 ①

会 派 令和創生の会

議席番号 17 氏名 小林 均

○ 開催日時 令和5年6月29日（木）15時～15時45分

○ 演 題 地方創生取り組み事例

○ 講 師 富山県知事 新田八朗 氏

○ 研修の感想

富山県では、「富山県成長戦略会議」での議論を踏まえ、2021年8月に、県の成長戦略のビジョンとして、「幸せ人口1000万～ウェルビーイング先進地域、富山～」を打ち出しました。県民が生き生きと自分らしく暮らす、そんな富山県に魅力を感じる多くの方が富山に集い、共に発展していくことを目指しています。かつてのバブル時代のような、経済成長による物質的な幸せを実感することが難しい現代。だからこそお金に換算できない価値観が求められています。「真の幸せ」はいま、『ウェルビーイング』という言葉で呼ばれている収入や健康といった外形的な価値に囚われず、自分らしく生きられる、そんな『ウェルビーイング』の向上を目指し、次世代の価値を産む人が育ち集まる富山となるため、新たな成長戦略に富山県はスピード感を持って取り組んでいます。県の取り組みではありますが、大変示唆に富む講演でありました。

本市でも『ウェルビーイング』（世界保健機関（WHO）憲章の前文において、「健康とは、病気ではないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態（=well-being）にあること」と定義されている）を目指した取り組みを進めていきたいと思いました。

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

## 研 修 報 告 書 ②

会 派 令和創生の会

議席番号 17 氏名 小林 均

○ 開催日時 令和5年6月30日（金）10時～10時45分

○ 演 題 「地域の観光づくり」

○ 講 師 観光庁観光地域振興課 課長補佐 平山耕史師氏

○ 研修の感想

新型コロナウイルス感染症の世界的流行は、人的交流を大幅に抑制し、我が国の観光地や観光産業に深刻な打撃を与えてきた。2年以上に及ぶコロナ禍を乗り越え、我が国の経済を再び発展の軌道に乗せていくためには、観光の力が必要不可欠である。観光は成長戦略の柱であり、地域活性化の切り札である。インバウンドについて、2012年の836万人から2019年には3,188万人へと飛躍的な増加を遂げている。その後、新型コロナウイルス感染症の流行によりインバウンド需要が減少したものの、UNWTO（国連世界観光機関）より発表された「2023年1月版の世界観光指標」では、2023年は一部地域で国際観光客がコロナ禍前の水準に戻ると見込んでおり、コロナ禍を経ても、引き続き旺盛なインバウンド需要が期待される。さらには、2022年に世界経済フォーラムが発表した観光開発指数ランキングにおいて我が国は1位を獲得しており、今後更に我が国へのインバウンドの増加が期待されるなど、観光産業は今後の我が国を支える成長産業である。そして、観光は、地域が育んできた固有の伝統・文化・歴史・自然等を観光資源として地域外の人々に触れてもらうことを通じ、地域住民がその価値を再認識し、自らの文化や地域に対する誇りを育てていくという効果もある。

以上、具体論にまで踏み込む時間はなかったが政府の考える、地域の観光づくりの概要は理解できたと思う。本市でもDMOの取り組みがますます重要になると感じた。

# 研 修 報 告 書 ③

会 派 令和創生の会

議席番号 17 氏名 小林 均

○ 開催日時 令和 5 年 6 月 3 0 日（金） 1 2 時 3 0 分～ 1 3 時 1 5 分

○ 演 題 自治体 DX 推進への政府戦略

○ 講 師 デジタル大臣 河野太郎氏

○ 研修の感想

政府の今後の重点取組事項は以下の 8 項目である。

①自治体の情報システムの標準化・共通化 ②マイナンバーカードの普及促進

③自治体の行政手続のオンライン化 ④自治体の AI・RPA の利用推進

⑤ テレワークの推進 ⑥セキュリティ対策の徹底

⑦地域社会のデジタル化 ⑧デジタルデバйд対策

政府において「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」が決定され、目指すべきデジタル社会のビジョンとして「デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会～誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化～」が示された。このビジョンの実現のためには、住民に身近な行政を担う自治体、とりわけ市区町村の役割は極めて重要である。

我々地方自治体においては、まずは、自らが担う行政サービスについて、デジタル技術やデータを活用して、住民の利便性を向上させるとともに、デジタル技術や AI 等の活用により業務効率化を図り、人的資源を行政サービスの更なる向上に繋げていくことが求められる。今後も、一層の二本松市の DX 化を進めていきたい。

# 令和創生の会研修会参加行程表

| 日時 | 月 日     | 行 程           |             |              |                |           |                |
|----|---------|---------------|-------------|--------------|----------------|-----------|----------------|
| 1  | 6/29(木) | 【JR東北本線】      | 【JR新幹線】     | 【JR東海道本線】    | 【ゆりかもめ】        | 【徒歩】      |                |
|    |         | 二本松駅          | 郡山駅         | 東京駅          | 新橋駅            | 東京ビッグサイト駅 | 東京ビッグサイト       |
|    |         | 10:01発        | 10:26/10:37 | 12:16/12:27  | 12:29/12:40    | 13:02着    | ①研修15:00～15:45 |
|    |         | 【徒歩】          | 【りんかい線】     | 【JR湘南新宿ライン】  |                |           |                |
|    |         | 国際展示場駅        | 大崎駅         | 横浜駅・夕食・市内(泊) |                |           |                |
|    |         | 16:05         | 16:19/16:27 | 16:48着       |                |           |                |
| 日時 | 月 日     | 行 程           |             |              |                |           |                |
| 2  | 6/30(金) | 【JRJR湘南新宿ライン】 | 【りんかい線】     | 【徒歩】         | 【徒歩】           | 【ゆりかもめ】   |                |
|    |         | 横浜駅           | 大崎駅         | 国際展示場駅       | 東京ビッグサイト       | 東京ビッグサイト駅 |                |
|    |         | 8:48発         | 9:12/9:20   | 9:35着        | ②研修10:00～10:45 | 15:11発    |                |
|    |         | 【JR上野東京ライン】   | 【JR新幹線】     | 【JR東北本線】     | ③研修12:30～13:15 |           |                |
|    |         | 新橋駅           | 東京駅         | 郡山駅          | 二本松駅           |           |                |
|    |         | 15:33/15:40   | 15:43/16:00 | 17:17/17:4   | 18:04着         |           |                |

## 【研修会場】

東京ビッグサイト(東京都江東区有明3-11-1)

## 【視察・研修項目】

### ①自治体・公共Week2023

講演「地方創生取り組み事例」

” 「地域の観光づくり」

” 「自治体DX推進への政府戦略」

講師 富山県知事 新田 八朗

” 観光庁観光地域振興課 課長補佐 平山 耕吏

” デジタル大臣 河野 太郎

【宿泊先】 ホテルユニゾ横浜駅西 住所 〒220-0005神奈川県横浜市西区南幸2-17-6 TEL:045-321-1070